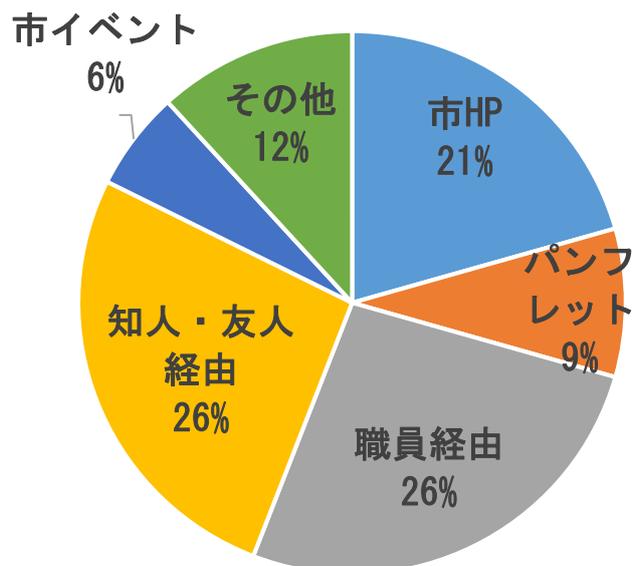


木更津市協働のまちづくり活動支援事業アンケート集計結果
50団体中26団体（回答率：52%）

Q1 「木更津市協働のまちづくり活動支援事業」をどこで知りましたか？

木更津市ホームページ	7
当課作成のパンフレット	3
職員から教えてもらった	9
知人・友人から教えてもらった	9
市主催のイベント	2
その他	4
内訳	
広報きさらづ	3
議会	1



Q2 支援金の交付回数が残っている場合、来年度以降、支援金の受給を考えていますか？

考えている	18
考えていない	5

Q3 Q2にて「考えていない」と回答した方は、その理由を教えてください。

事業の目的を達成してしまったため	3
当課支援金事業よりも条件が良い補助金等の制度があったため	0
団体の収入があり、支援金の必要がなくなったため	0
収入などなくても、活動が可能であるため	0
団体構成員の減少等で事業の継続が困難になったため	1
その他（現在、大きな事業計画がない）	1

Q4 1団体あたり受けることができる支援金の総額（上限）について、合計150万円（3年度分、各年度50万円）の額は適当と思いますか？

適当	17
少ない	6
多い	2

Q5 Q4にて「多い」または「少ない」と回答した方は、支援金の総額（上限）として、どれくらいの額が適切だと思いますか？

- 240万円・・・ 3
- 210万円・・・ 1
- 180万円・・・ 0
- 120万円・・・ 2
- 90万円・・・ 0
- 60万円・・・ 0
- これら以外・・・ 1（30万円）

Q6 支援金の支給回数について、現在は3回（3年度分）が交付の限度ですが、この回数は適当だと思いますか？（ただし、支援金総額の変更はないものとします。）

- 適当である・・・ 17
- 適当ではない・・・ 9

Q7 Q6にて「適当ではない」と回答した方は、支給回数について何回が適当だと思いますか？

- 1回・・・ 0
- 2回・・・ 1
- 4回・・・ 0
- 5回・・・ 5
- その他・・・ 3

内訳

- 10回・・・・・・・・・・・・ 1
- 活動している限り支給・・・ 1
- 数回・・・・・・・・・・・・ 1

Q8 支援金の支給方法について、例えば、1年目：50万円、2年目：40万円、3年目：30万円、4年目：20万円というように、団体の自立に向け段階的に減らしていく方法は、適当だと思いますか。

- 適当である・・・ 11
- 適当ではない・・・ 13

Q9 Q8にて「適当ではない」と回答した方は、その理由を教えてください。

- ・自立に向けて必要な額は団体の活動によって異なると思う。従って、活動内容や必要機材について団体毎に調査し、各団体に合った必要額を支援していくべき（類似回答：1）
- ・必ずしも1年目に大きな事業・イベントを実施するとは限らない
- ・運営方法を1年目だけでは確立するのが難しい為、3年間は同じ支援金額にして欲しい
- ・事業継続のため安定した支援金が必要なため
- ・小額（3～5万円）でも毎年が良い
- ・ステップアップに従って、より多くの金額が必要になったと思う（自立度をあげることは必要だが）

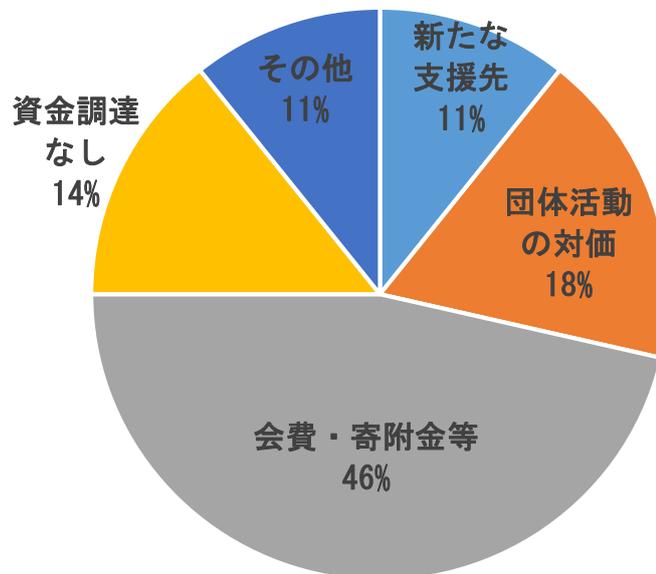
- ・団体の自立であまり関係ない
- ・利益の出る活動であれば良いが、利益の出ない文化活動においては、活動している限り支援を望むと思う
- ・団体により活動内容に差があるので、支援の最高額を決めて申請額を各団体に任せるのはどうか
- ・年度ごとに事業費の変動がある
- ・活動自体は拡大していくのが本来であり、資金的に減額されると事業が厳しくなる

Q10 (支援金の交付が終了した団体様へ) 今現在の貴団体の活動は、継続されていますか？

継続している・・・ 18
 継続していない・・・ 4

Q11 Q10にて「継続している」と回答した方は、支援金の交付終了後の資金調達先はどのようにしていますか？

新たな支援先による資金調達・・・ 3
 団体活動の対価としての収入・・・ 5
 会費や寄付金等による調達・・・ 13
 資金調達なしで活動している・・・ 4
 その他・・・ 3
 内訳
 ボランティア活動等による助成・・・ 1
 他団体との連携・・・ 2



Q12 Q11にて「継続していない」と回答した方は、その理由を教えてください？

事業の目的が達成されたため・・・ 3
 資金調達が厳しくなったため・・・ 0
 団体構成員の減少等で事業の継続が困難になったため・・・ 1
 その他(バカ貝が不漁のため)・・・ 1

Q13 支援金の交付終了後、当課に希望したい支援はありますか？

ある・・・ 16

ない・・・ 7

Q14 Q13にて「ある」と回答した方は、具体的にどのような支援方法ですか？（複数回答可）

当事業以外の支援金・助成金の支給先を紹介・・・ 8

団体のPR・周知活動・・・ 6

ボランティア活動団体向けの研修やイベントの告知・・・ 5

団体構成員の募集・・・ 5

他のボランティア活動団体との交流会の開催・・・ 2

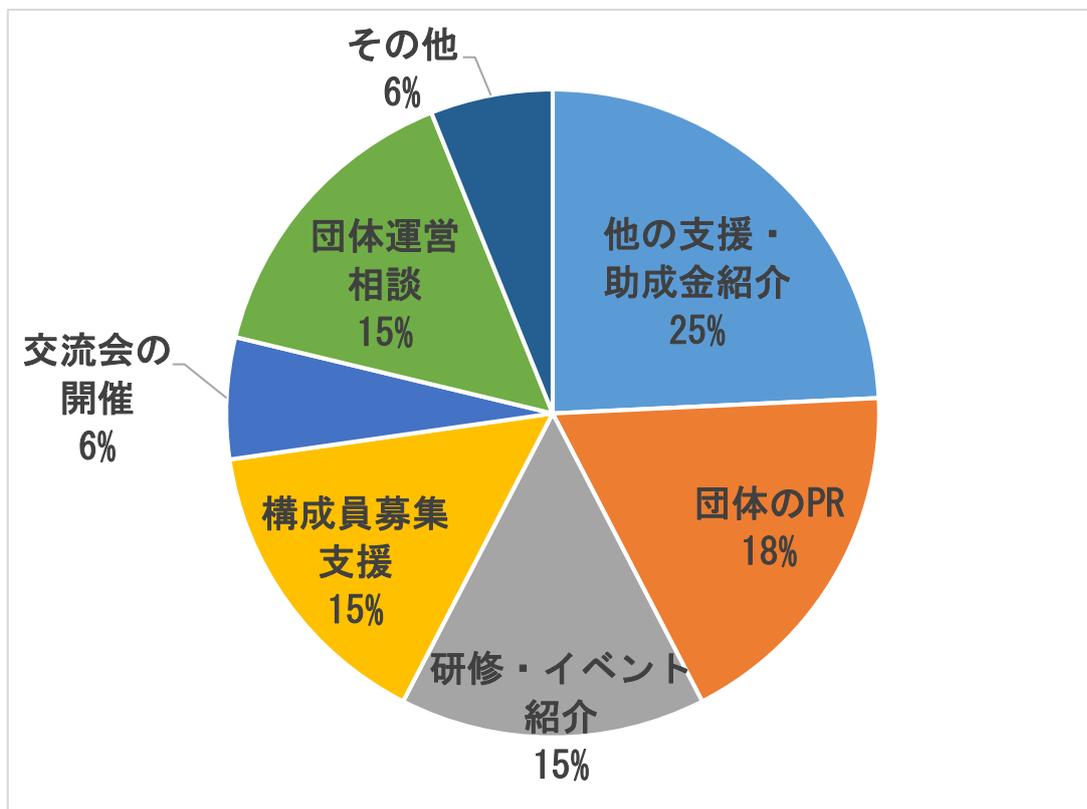
今後の団体運営の相談・・・ 5

その他・・・ 2

内訳

直面している課題解決に向けた支援・・・ 1

会場借用の減免支援・・・ 1



Q15 その他、ご意見等ありましたらご自由にご記入ください。

- ・市長との話の場を設けていただきたい。(41)
- ・資金の出元からの縛りはあると思うが、必要な機材購入や必要な経費を投入できれば勤められる事業もある。用途の助成率の縛りが緩和されると、今よりも活動が活発になると思う。
(きさらづ里山の会)
- ・武田川及び里山の草刈、竹伐採を継続しているが、ガソリン代等の経費が半端なくかかる。こうした経費負担の軽減策はないものか。(NPO 法人一粒舎)
- ・ふまねっとサポーターの養成で合格者の養成はできたが、ふまねっと自体の購入を事前に相談しなかったため買えず、グループ化・チーム化がうまく進まなかったため、それぞれのサポーターがこの活動になりがちだった。(上総ふまねっとの会)
- ・まちづくり事業の行政からの支援に感謝しています。今後も木更津市の活性化のために大変役に立つ事業と考えます。
- ・NPO ライフサポート波岡の生活バスを例にとると、行政がやるべきことではないのか、できないのであればしが委託もしくは強い支援・助成がひつようでは。また、あけぼの園もきわどいが、民間の福祉作業所に委託できないのか。(ゆるぼらの会・かずさ音楽療法研究会)
- ・ご支援に感謝している。自分たちの活動を「知ってもらおうこと」苦慮している。(木更津こども人形劇場)
- ・営利事業ではないため、単年度事業とすると赤字になってしまう。継続を検討中。(さかんだな祭り実行委員会)
- ・支援事業で畔戸地区海岸防潮堤に魚等の絵を描いているが、色彩が薄れてきているので、リニューアルを考えている。
- ・平成24・25・26年の3年間支援を受けているが、再度支援を受けられるか。
- ・地域の環境整備に小学生を参加させることにより、郷土の良さを再認識すると共に郷土愛を育み、景観の良い郷土を継続させていく。(ふる里を守る会)
- ・今回のアンケート調査は当団体に調査依頼がなく残念だった。(万葉の歌碑を建立する会)
- ・各団体にいる無償で活動を継続的に支援する指導者の賃金は支出できないと思うが、竹刀、防具の修理費、野球やテニスの靴やユニフォーム代を自腹で支出しているため、そのような費用に支出を頂きたい。単発的な支出よりも継続している事業や人に対して市としての「思い」や「感謝」が伝わった方が、これらの方も継続する支援になりますのでご配慮を希望したい。
真舟・請西スポーツクラブ設立準備委員会は設立が完了し、真舟請西スポーツクラブが設立されているので、名称の変更を願う。(真舟請西スポーツクラブ)
- ・いろいろな団体で申請があると思うので、支援を継続していただきたい